

備前市事務事業評価表

事務事業名	港湾管理運営事業（備前）	コード	01-01-13-01
		担当課・係	都市整備課 管理係
		担当者	藤田 楽
		電話	64-1833
事業実施期間	昭和46年～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり	
	小項目（施策）	港湾・漁港	

事業について	
目的 (何のために)	東備港片上港区及び鶴海地区小型船舶係留施設の港湾利用者が安全で快適に使用できる環境の整備
対象 (誰・何を対象に)	港湾施設利用者及び小型船舶係留施設利用者
内容	施設使用の許認可・徴収・岡山県管理施設の点検、係留船舶の確認。その他これらに付随する業務

事業の結果	
実施項目	回数など (単位)
港湾利用船舶数	17年度 522 艇 / 18年度 508 艇
苦情処理件数	17年度 6 件 / 18年度 122 件
小型船舶係留施設利用件数	17年度 110 件 / 18年度 122 件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	22,659	間接事業費	24,062	直接事業費	23,361	間接事業費	24,907
	人件費	2,245	委託者負担		人件費	2,665	委託者負担	
	合計	24,904	一般財源等	842	合計	26,026	一般財源等	1,119
								0

必要人員	0.30 人	0.40 人		
結果指標①	結果指標名	港湾利用船舶数	結果指標名	港湾利用船舶数
	結果指標量	522	結果指標量	508
	単位	艇	単位	艇
	対前年比	-	対前年比	97.32%
	活動にかかるコスト	23,313,000 円	活動にかかるコスト	24,038,000 円
	単位当たりコスト①	44,660 円	単位当たりコスト①	47,319 円
結果指標②	結果指標名	小型船舶係留施設利用件数	結果指標名	小型船舶係留施設利用件数
	結果指標量	110	結果指標量	122
	単位	件	単位	件
	対前年比	-	対前年比	110.91%
	活動にかかるコスト	1,591,000 円	活動にかかるコスト	1,950,000 円
	単位当たりコスト②	14,463 円	単位当たりコスト②	15,984 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	小型船舶係留施設を快適に使用できる環境整備を行い、利用件数を増加させる。		
成果指標名	小型船舶係留施設利用件数	式又は説明	係留施設利用件数/係留施設区画数
	17年度	18年度	
成果指標量	77.46%	85.92%	
対前年比	-	110.92%	0.00%
到達目標値	90%	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

(平成18年度事業)

妥当性評価<A~E> C  
課題認識

効率性評価<A~E> D  
課題認識

有効性評価<A~E> B  
課題認識

平成19年度の状況		説明 小型船舶係留施設は県の施設であり、利用者が安全に効率よく施設利用が行えるよう県に要望を行っていく。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量①	小型船舶係留施設利用率
	結果指標量	85%

総合評価	東備港内の岡山県管理施設の使用許認可事務については、岡山県の利用条例により備前市に委託されているが、施設修繕対応等の維持管理事務については施設管理者である岡山県が実施することになる。利用者が安全に効率よく施設利用を行えるよう、県担当課と年次的な施設修繕計画を協議し、早急な修繕対応を実施する必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	東備港鶴海地区小型船舶係留施設の年次修繕計画	毎年	老朽化したアンカーロープ交換による係留船舶の安全性の向上